

第6日

平成28年9月5日（月）

午前10時零分開議

○議長（浅尾静二君） 皆さん、おはようございます。これより本日の会議を開きます。

なお、本日の出席議員は18名で会議は成立いたします。

本日の議事日程については、お手元に配付のとおりであります。御了承願います。

日程に従い、一般質問を行います。

質問通告者及び順位はお手元に配付のとおりであります。

申し合わせにより、1人当たりの質問時間は答弁時間を含めて60分以内となっております。御了承願います。

それでは、最初に6番半田雄三議員の質問を許可します。6番半田雄三議員。

（6番半田雄三君登壇）

○6番（半田雄三君） 皆さん、おはようございます。一般質問の許可を得ました6番議員の半田でございます。

心配しておりました台風も、先ほどの全協の中で報告がありましたとおり、被害がなかったということでございました。大変安心しているところであります。

反面、台風になれてない東北・北海道地区に何遍も台風が襲来しまして、甚大な被害が出ていることに対しまして、心からお見舞い申し上げたいと思います。

さて、一般質問、この場におきまして、私、意識して毎回、朝倉市のいいところなり魅力的なところを、意外と住んでおる本人たちは気づいてないけれども、こういうところがいいですよっていうところを必ず言うておるつもりであります。

去年だったと思いますけれども、去年のこの場におきまして、住みよさランキングっていうのがありますよと。それは九州地区で朝倉市は11位にランクしてましていうことを言うておりました。それが今回の総合戦略の中にも取り入れられまして、しかも、27年度のランキングでは9位に上がっております。10位以内に入りますと、いろんな媒体を通じて目にする機会がふえますんで、朝倉市のイメージも上がってくるのではないのかなというふうに感じております。

また、私自身がスポーツに大変興味がありまして、この夏開かれましたオリンピックも、本当に興味深く見させていただきましたけれども、それ以外にも、いろんな朝倉地区の中のスポーツに関しても顔を出させていたいただいております。

その中で個別に名前を言うとうどんのかっていう気もしますけれども、もちろん、出身が朝倉高校ですから、朝倉高校の野球部を大変応援しておるんですけども、それ以外にも、高校野球の中で朝倉出身の方が本当に活躍されておまして、小学校時代、朝倉地区のソフトボールのリーグがありまして、そこで活躍された人たちが今高校生で、かなり活躍をされております。真颯館高校っていうところの4番でピッチャーが高木君と言いまし

て、福田出身が頑張られておりますし、日田の藤蔭高校、そこの3番でセンター、吉松君という方が上寺、大福の出身で、こっちもまた頑張られています。ともに夏の大会ベスト4に入っておりますし、また、新人戦でもベスト4まで来てるというふうに、地元の子たちもしっかり頑張っております。

私自身、今回の一般質問におきまして初めて1番くじを引かせていただきました。何らその言うことには変わりはないんですが、1番くじですんで、しっかり張り切って頑張っていきたいと思います。以後、質問席より質問をしたいと思います。よろしくお願ひします。

(6番半田雄三君降壇)

○議長(浅尾静二君) 6番半田雄三議員。

○6番(半田雄三君) それでは、一般質問のほうに入ります。

3月議会、朝倉市の総合戦略というのが策定されまして、議会においても承認されました。これは、社人研による人口減、2060年の時点で半減して2万7,000人になりますよつていうのを受けまして、朝倉市が人口ビジョンつていうのを策定しました。その人口ビジョンで3万7,000人前後ぐらいに何とか持っていこうと、減らし方を少なくしようという計画なんですけれども、これを実際に実現に向けて具体的に策を練ったのが、この朝倉市の総合戦略であると私は思っております。

この朝倉市の総合戦略を策定するに当たって、大きく5つの課題を解消に向けて展開しております。今さらではありますが、これをちょっと確認させていただきますけれども、1、働く場の充実(近郊に勤めやすい環境づくり)、2、人口の社会減の緩和、3、出生数と出生率の低下の改善、4、安全安心に暮らせる環境づくり、5、朝倉市の魅力をより多くの人に知ってもらうこと、これらの5つの課題の解消に向け、さまざまな施策を展開しておるわけです。

だからといって、総合戦略の中で新しい施策をたくさん網羅したというわけではなく、今まで実施してきた、そして効果的であった施策にプラスして、十幾つかの新たな施策を展開しているということです。

内容的には、新しい着眼点があり、大変充実したものであると私は認識しております。これらの着実な実施が必ずや朝倉市の将来に向けてよい方向に作用すると確信しております。

ただ1点気になることがありまして、まず総務部長にお尋ねしますけれども、この計画、何年から何年までの何カ年計画なんでしょうか。

○議長(浅尾静二君) 総務部長。

○総務部長(鶴田 浩君) 総合戦略の期間は、2015年、平成27年度から2019年度、平成31年度の5年間となっております。

○議長(浅尾静二君) 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） もう書いてある分で、そのとおりなんですけれども、これを見て、皆さん、お気づきだと思いますが、総合戦略ができ上がった時点で既にもう1年経過しとるといことなんです。本来5年計画でやらなきゃいけないことが1年経過してるということは、残り4年で実施していかなくちゃいけない。今現在で言いますと、もう3年半しか残り期間はないということなんです、もう一回総務部長にお尋ねしますけれども、このような状況っていうのは、通常なんですか、当たり前なんですか。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 通常ですと、計画につきましては、前年度にいろいろ計画を練りまして、そして当該年度といいますか、計画の初年度の当初につくり上げるというのが、普通、計画づくりには多うございます。

ただ、この総合戦略につきましては、平成27年度に策定したわけですが、国の予算の配分といいますか、交付金の関係もございまして、27年度の当初から進めましたけれども、27年度計画づくりと（「部長、マイクをちょっと調整してもらっていいですか」と呼ぶ者あり）27年度の計画づくりと27年度からその計画期間が始まるということで、通常の計画とは異例でございました。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） いろんな状況があったっていうのは、理解はできております。

では、このような状況の中で、今すべきことで何が最も大事だと思われませんか。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） そもそもこの戦略と申しますのは、人口減対策でございます。人口減の対応をするためには、短期的にできるものではないというふうに考えておりますので、長期的視点に立つということが大切だろうというふうに思っております。以上です。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 確かにそのとおりだと思いますし、私は、一番大事なのは、1年おくらしているっていう、いろんな理由があったにせよ、5年間すべきところを4年間でしなくちゃいかんということは、いち早く実施する、そして悪いところをまた訂正してやっていくっていう、この繰り返しが一番大事なことじゃないかなというふうに思っております。

今回の一般質問におきまして、一般質問の通告っていうのが約10日前、締め切りが25日だったんですけれども、実は総務部長に対しまして、この一般質問の通告を6月議会の前にしておりました。9月議会にこのことを聞くよという意味合いは、これをちゃんと進めてくれよと、早く進めてくれよという意味合いで聞いておりました。そういう意味の中で、それぞれ十幾つ新しい施策があるんですけれども、その中で8点ほど、今までの実施状況をお尋ねしたいと思います。

まず、1つ目に、空き家の利用・活用推進についてお尋ねします。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 空き家の利活用促進でございます。7月1日から宅建協会と空き家の仲介等に関する協定を結びました。現在、周知、掘り起こし中でございます。

現在の状況は、空き家につきまして3件を認定いたしまして、入居の問い合わせが約20件あるということでございます。以上です。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） これにつきましては、全協のほうでも報告がありましたし、確実に進んでおるなという印象は受けておりました。

続きまして、孫ターンの推進について、その施策内容と、主な内容と今までの実施状況を報告願います。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 孫ターンの推進でございます。孫ターンと言いましても、なかなかその言葉ではわかりづらいということですが、中身につきましては、企業と連携し、市外で暮らす孫が、祖父母の住む朝倉市へ転入することを促進していくという取り組みでございます。

市長の学卒求人要請行動等の企業訪問時に、さらには、市内企業のトップとの面談時に、市長より企業幹部に孫ターンについての要請を行っておるということでございます。

この取り組みは、孫などの若者をターゲットとした移住・定住施策を掘り起こすというものでございますので、今そういう取り組みをしておるところでございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） これにつきましては、実際、市長が企業のトップと話をされたり何だりされてる中で、その反応というのはいかがなんでしょうか。

○議長（浅尾静二君） 市長。

○市長（森田俊介君） そもそも、この孫ターンというのをなぜ朝倉市が取り組んだかということ、まず説明させていただきたいと思います。

御存じのように、朝倉市は、人口が減少をしてきております。そういった中で、いろいろな要因があるわけですが、そういった中で、やはり若い人、若い人たちは今、朝倉市に在住の皆さん方の子ども世代が、いわゆる働く場所だとかを求めて市外に出て、そちらのほうで生活の基盤ができておると、家もあるし。じゃそういった出た人たちの子どもさん、いわゆる市内に居住した人たちの孫さん、この人たちが、いわゆる職を求めて逆に今度は朝倉市のほうに来ていただければ、住居はおじいちゃんたちの家があるわけですから、そういったことを促進をしたい。これは、私が実際接した方の中で、そういった方たち、私の知ってる方だけでも3名いらっしゃいました。その方たちは、孫が帰ってきたということで非常に喜ばれておりましたし、これはひとつ市としても何らかの形の中で取り組むべきだろうということで、この事業を始めた経緯がございます。

今から、始めたわけですから、いろんな、いわゆる企業等にもそのことについてお話をします。

ただ、企業の場合は、やはり、もちろん、地元の人たち優先という気持ちもあっても、いわゆる採用する場合には、どうしてもその企業に合った人材、能力的なものも含めて、これを優先的に採用するということになります。ですから、そのことはちゃんと頭に入れていただいておりますので、そういう形の中で採用も考えていただけるんじゃないかなど。

一方で、今度は、孫を持つ朝倉在住の皆さん方、市外に、この方々に今後の一つの方法としては、そういう方々に、朝倉市にはこういう仕事、いわゆる若い人たちにあれがりますよという情報提供というものを今後やっていく必要があるのかなというふうに考えております。以上です。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） わかりました。

3点目ですが、博多駅直通電車の可能性調査についてお願いいたします。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 現在、沿線自治体と協議を進めまして、JRと調査協力の依頼中でございます。

今後、事業主体であります甘鉄が調査委託の契約を進めて、この調査に取り組むという状況でございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 本来、国に提出され、採択されなかったわけですがけれども、その際に朝倉市単独ではなくて、他市町村と連携しながら、連盟といいますか、一緒にとという形で進められた施策だったと思いますけれども、今回不採択になりました。

今後進めていく中で、他市町村との連携については、どのような状況にありますでしょうか。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） この調査費用につきましては、9月の補正予算に議案といたしまして上程してるところでございますけれども。この調査費用は、朝倉市が基金を管理しております状況がございます。これは、甘鉄の事業を推進するために基金があるわけですがけれども、市が管理しておると、そういう状況がございますので、その基金を使う際には、その積み上げております沿線自治体ときちんとした協議が整わなければ、その基金を使うことができないということでございますので、予算を計上するに当たりまして、沿線自治体、それから甘鉄の理事会といいますか、関係者とも打ち合わせをしまして、この予算計上に至ったということでございますので、関係者とは調整が整っておるという状況です。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 27日付の新聞でしたかね、甘鉄を中心に進めていくという形で出ておったと思います。後ほど、また関係する質問をさせていただきますので、次に移りますけれども、4点目、バス停の待合所設置補助についてお願いします。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 設置補助ということでございますので、取り扱いの要領等をきちんと整備する必要があります。

現在その取り扱いの要領を定め、その中身は2分の1、補助限度額50万円という要綱を定めました。その要綱の中身につきまして、関係者、関係地域等に周知中でございます。そういう状況でございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 今現在、申し込みはあるんでしょうか。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 現在の申請件数はゼロ件でございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） これも一刻も早く周知していただいて、こういうことをやってるっていうこと、そして、やることが後々プラスになってくると思いますので、それも急がれたほうがいいんじゃないかなという気がいたします。

それと、次へ移ります。5番の休日保育について、説明をお願いします。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） ことしの4月17日から市内の1つの保育所におきまして開始をしておる現状でございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） わかりました。全域で休日保育が充実することを願っております。

6番目に、地域おこし支援についての報告をお願いします。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 地域おこし支援ですが、中身につきましては、集落支援員の設置でございます。高木、松末地区の集落維持活動と課題を抽出する、空き家の調査等をするということで、集落支援員を設置して、今、活発に活動をしておるという状況でございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） わかりました。

7番目、市勢要覧の作成についてお願いいたします。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 市勢要覧につきましては、こういうSNSとかという時代も

ございます。それから、新しい感覚での雑誌の出現等もあっておりますので、見やすさを重視して要覧をつくりたいというふうに考えておりますが、現在、2,000部、20ページで発注をしております。間もなくでき上がることになろうと思っております。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 最後に、市街地循環バスのラッピングについてをお願いいたします。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 公共交通活性化協議会へ補助をするという形でこのバスラッピングを行います。10月に制作予定でございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 以上、ちょっと気になる主な8点についてお尋ねしました。先ほども申し上げましたとおり、せっかくだいいい計画をつくっても、それ実施がおくれてしまうってこと自体が一番問題が出るだろうというふうに思っておりますので、早く実施して、そして計画の最終ページにも書いてありましたが、PDCAサイクルを利用してきっちり仕上げていくという形の中で、これが最初がおくれてしまいますと、実際、実施した後にチェックする、そして、もう一回やるっていう時点で、残り1年ぐらいしかないという状況になりかねないというふうな状況だと思いますので、きっちり実施、そして効果検証、並びにPDCAサイクルにのっとってもう一回やるという形の実施をぜひお願いしたいというふうに思います。

続きまして、先ほどの関連なんですけど、都市圏への通勤・通学の支援について、3月議会で発表がありましたときに、以前から実施されてあったことの一つではありましょけれども、今回新たに人口減に対しての対策として、非常に有効であり、最近、ちょっと見過ごされていたといいますか、また新しい視点に入るんではなかろうかなというふうには思っておりました。

先ほど直行便の今後についての展開の報告、並びにその全協等でも報告がありましたけれども、今回の総合戦略の中に書いてあります数値目標というのが出ております。その数値目標というのは、甘鉄とコミュニティバスの2つだけの数値目標なんです。市自体が数値化できるのは、もちろん自分のとこでやってるこの2つしかできないというふうには理解しておりますけども、副市長にちょっとお尋ねしますけれども、福岡へ通勤・通学をすると仮定して、甘木地域、朝倉地域、杷木地域でバスと甘鉄の利用の比率はどれぐらいだと思われませんか。

○議長（浅尾静二君） 副市長。

○副市長（堀内善文君） 済みません、数字的なものを私は押さえておりませんのでわかりませんが、甘鉄以外でバスというのは、甘木営業所から出てる博多駅方面の分がありますので、あちらのほうで通学・通勤の方は結構乗られてあるんじゃないかなと思っていま

す。済みません、数値は私は理解しておりません。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 数値を求めたもんじゃないんですが、感覚的なもんで結構だったんですけども。私が思ってるのは、甘木地域では恐らくバスと甘鉄の両者半々ぐらいなのかなと、高速バスも含めて思っております。

ただ、朝倉地域、杷木地域になりますと、これがちょっと状況が激変しまして、恐らくバス利用者が9割以上ではなかろうかなというふうに思っております。

今回の都市圏への通勤・通学の支援については、どちらかといいますと、甘鉄を中心に展開されてるなという印象を受けております。

そんな中、朝倉と杷木につきましては、先ほども申し上げましたとおり、9割以上がバスであるというふうな認識でおりますんで、そのバスに対する対策が多少不足してるのではなかろうかなというふうに感じますけれども、いかがですか。

○議長（浅尾静二君） 副市長。

○副市長（堀内善文君） 確かに甘木地域と朝倉、杷木は環境がちょっと違いますので、言われますように、甘木のほうは甘鉄、それから西鉄電車、鉄道路線がありますから、こちらが結構あるのだらうと思います。

朝倉、杷木につきましては、言われるように、バスが主でございまして、バスで甘木まで来て、甘鉄に乗りかえるのはなかなか難しく、やはり直通で行かれるのが多いかなと思っております。

現在は、若干ではございますけど、車の駐車場は若干はありますが、それが今十分かどうかというのは、まだ検討が必要だらうと思っております。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 私も福岡に会議があったりとか、用事があって出かけますときには、意識的に甘鉄を使ったり、住んでるところからインターが近いもんですから高速バスで行ったりと、いろいろ試してはみておりますけれども、それぞれのよさがやっぱりあります。

先ほど言われました、バスに対する対策について、私は多少不足してるのではないのかなというふうに考えておまして、3月議会でも申し上げましたけれども、甘鉄が一時期、存続の危機になったときに、皆さんが立ち上がって、そして存続を求めたという中で、今現在、そのまま存続している最大の原因というのは、恐らく駅のすぐ横に二、三十台の駐車場が設けてある。特に朝倉市から小郡に向かいます途中の大刀洗ぐらいまでですかね、全駅にずっと駐車場があると、すぐ横に、それが最大の原因じゃないのかなというふうに思っております。

一時期、高速バスにちょっと限定して言いますけれども、高速バスにつきましても、駐車場が設けてあったという時代もあったようです。

ただ、その3月の質問でも、何台ありますという返事がありましたけれども、実質こうやってもう一回、人口を減らさないためにどうしようかって考えたときに、果たして、そのときにあった駐車場がちゃんと機能していたのか、使われなかったという判断ではなくて、利用者がなかったという判断ではなくて、何かが悪かったのではないかという判断もできたのではないのかなと。もう一回そういう判断をしながら検討すべきではないのかなというふうに感じますけれども、それいかがでしょうか。

○議長（浅尾静二君） 副市長。

○副市長（堀内善文君） 今、議員が言われてあるのは、朝倉のインターの想定ということではよろしいですかね。（「そうです」と呼ぶ者あり）

以前は、朝倉町時代から駐車場というのは、高速道路の少し北側、桂川ですかね、川の東側のところにございました。それと、高速道路のバスの乗り場のところに道路公団が整備した分が十数台ありますが、それ以外に、町のほうで整備されたものをございまして、距離的に400メートルですかね、結構離れておりまして、なかなか利用が少ない。それが遠いのも一つあるかと思えます。

それと、もう一つは、比良松中学校の南側に十数台置くところもございまして、そちらもございしましたが、なかなか満杯にはまだなっていないということもございまして、高速バスの乗り場から遠いというのが1番のネックじゃなかったらと思うております。そういうふうに理解しとるところでございまして。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 私も、その原因もあると思います。それにプラスして、入りにくいっていうのもあると思います。非常に入りにくい、そして、わかりにくいところにあります。駐車場を設けて、今回のように企業誘致とか、そういうもんで人口減をとめようというのではなく、ここからでも勤められるというのを売りにしようとするのであれば、高速バスでも行けますよっていう体制をきちっと考えることも必要ではないのかなと。それから、これをすぐしなさいということではなくって、もう一回机の上にのせていただいて、検討いただく必要はあるのではなかろうかなというふうに思います。

その際に、特に私がちょっと感心しましたのが、新鳥栖駅に新幹線が来ましたときに、駐車場ができましたよね。あれで100円取られるんですけども、1日100円で駐車できて、すぐ乗車できるという形、ああいう利用者負担も含めながら、全部が全部市がやらなきゃいけないということではなく、1日100円ですよっていう形の利用者負担も求めながら進めていくということ、私の地域の皆さんにもちょっと話をしてみました。そしたら、100円払う分には何ら問題ないという返事が返ってきまして、そういうところも含めて、もう一回机の上にのせていただけたらなというふうに思いますが、いかがですか。

○議長（浅尾静二君） 副市長。

○副市長（堀内善文君） 確かにそうですね、100円とかっていうことなら定額で利用は

あるかもしれません。現実的に、これはもう何年か前になりますけど、駐車場にどうい
う方が置かれてあるのかなと調べたことがございます。それは、普通車には、車を購入する
ときに駐車場のステッカーが張ってありますので、あそこに保管場所というのが、何々市
とか何々町というのがございますので、市内で置かれてる方か市外の方というのがわかり
ます。軽自動車はちょっとそこまでわかりませんが。

そうしますと、市外の方が置かれる方が結構な台数ありました。半分近いのがあったと
いう形でございます。市内の方で、特に朝倉の町の方でしたら、駐車場のことはもう周
知されてるじゃないだろうかと思っただんですが、なかなか旧朝倉町の方が置かれてる
台数が少なかったちゅうこともございました。

そういう形で、1カ所は廃止した経過がございます。借りてたものですので、お返しし
たという形でございます。そういうのがあります。

近いとこで確かにすれば有効だろうと思いますが、そうしますと、あとは投資ですね、
土地等の交渉であります、借りるのか買うのか、購入するのか、そのあたりがなかなか、
非常に財源的なものもありますが。現在のところは、少し不便はありますが、今ある駐車場
がまだあいておりますので、そちらを使っただきたいが。周知のほうは、まだ不十分
であればしていきたいというふうに考えてるところでございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 他市町村から来られてるのが多いというのも聞きました。そうい
う意味合いでも、無料ではなく、100円にすることが意義は出てくると思っていますので、そ
ういう方向で進められたらいいかなというふうに思います。

次に進ませていただきます。住みよさランキング、魅力度ランキングを上げるにはとい
うことで通告しておりました。

冒頭にも挙げましたとおり、住みよさランキングについては、当初の目標としておりま
した10位以内というのをもう既に達成したっていうことになります。魅力度ランキングに
つきましても、787位から631位と150位ほど上げております。魅力度ランキングについま
しては、約100項目ほどの要素があって、それをランダムにほかの市の住民にアンケート
をして、その結果が反映されてまいりますので、これ意図的に、意識的に上げようとい
うのは、こりゃ無理です。日常から朝倉市の魅力を訴えかけて、市民というか、住民の皆
さんに朝倉市のイメージをアップしていかないと、この順位は上がってきません。

ところが、住みよさランキングにつきましては、15項目の要素がきちっと決められてお
ります。これを数値化されて、それでランキングが出ておるんですけども、今回ランキ
ングが上昇した原因は何だと思われませんか。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） この順位を定めるに当たりまして、15の指標があるというこ
とですけども、その中で特に保育施設、待機児童数がゼロ、それから、ほかの指標の中

に住宅当たりの延べ床面積というものがございます。朝倉市の延べ床面積は大きいと、データでいきますと137.17平米ということで、全国で125位というような数値になっております。

それから、人口当たりの病院、一般診療所の病床数、これも朝倉市は数値がよいと。数値につきましては、朝倉市では1万人当たり160.7人の病床があるということのようです。全国平均が121.4人ということでございますので、数値が高いということでございます。これらが順位を押し上げたのではないかというふうに思っておるところでございます。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 全国平均よりもいい要素っていうのはかなりあるんですけども、前回の11位から9位に上がった要素は、その中の何だと思われませんか。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 今申しましたのは、朝倉市のよいところというところですけども、この住みよさランキングが財政力指数とか、そのほかの要因もありますので、今申しましたものは、かなり押し上げには寄与したと思いますけれども、これだけではないと思っております。どれがということにつきましては、特定できておりません。以上です。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） 明確に、ここに力を入れたから、ここがよくなって上がったよっていうのが出るのが一番いいんだろうとは思いますが。この総合戦略の中で10位以内を目指しますと、もう10位には入ってるんですけども、もっと上を目指しますという中で、どこに力を入れて目標値を達成しようとされてますか。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 順位を上げるためだけにランキングの指標を上げる事業に絞り込んで取り組むというようなことはなかなか考えにくいということでございますので、さまざまな取り組みによりさらに順位が上がるようにしたいと。要するに、全部上げたいという気持ちでございます。以上です。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） そのとおりだと思いますけれど、バランスよく上げていかなきゃいけないんだろうとは思いますが。

ところが、このランキングっていうのは、ほかの市町村も気にしてることだろうと思いますし、ほかの市町村も、これには力を入れたり、上げていこうという方向には来てるんだろうと思います。そんな中で朝倉市が上がっていくためには、バランスよく上げていかなきゃいけないんですが、それにプラスして、ここだけはずっと上げていきたい、負けられんとかいう部分もつくつとかなきゃいかんのではないかなというふうに私は思っております。

この住みよさランキングに朝倉市がたびたびベスト10に登場して、ましてベスト5ぐら

いに入ってきて、毎回毎回出ることが、我々が人為的に何かやるよりも、ずっと朝倉市に住みたいとか、朝倉市に転居しようとかいうことに対して、どんだけ大きな影響を与えるかっていうのは、もうはかり知れんもんがあるというふうに思います。これにつきましては、ひょっとすると、他市町村でこれのこの1点だけを伸ばしてベスト10に入ろうとかいう市町村もあるのかもしれないなという、意図的にやるところが出てくる可能性すら感じますので、ぜひ今劣っているところ、もうどうしようもない部分も確かにあるんですけども、意図的にできる部分はたくさんありますから、ぜひぜひその辺を上げていただいて、住みよさランキングの常連に朝倉市が顔を出すような方向になりますことを願っております。

ちょっと通告の文書の中には入っておりませんが、総合戦略の中の一つであります、聞き取りの中でも話しておりましたけれども、ふるさと納税が順調にここ2年で伸ばしてきております。昨年が約2億円のふるさと納税がありました。ことし3億円の目標値を置いてスタートしましたけれども、その現在の状況を教えていただきたいと思っております。

○議長（浅尾静二君） 総務部長。

○総務部長（鶴田 浩君） 8月末の現在、状況が出ております。8月末で9,300万円程度でございます。4、5、6、7、8、5カ月分で9,300万円程度ということが上がっておるところでございます。以上です。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員。

○6番（半田雄三君） ちょうど去年の実績ぐらいの推移をしてるのかなというふうに思いますが、目標が1億円上げた目標値を設定しておりますので、ぜひ、またこれも伸びるように、いろんな工夫をしていただいて、私どもも常々気にはかけておりますので、担当部署には直接話に行ったり、こうしたらとかいう提案をしたりとかはさせていただこうと思っておりますので、ぜひ3億円と言わず、もっと上になるように頑張っていたいただきたいというふうに思います。

今回、先ほども申し上げましたが、ちゃんと実施されてることが最も重要なポイントだと私は考えておりましたので、一般質問させていただきましたけれども、今後、実施された上で、創生会議で点検を行われると、そして修正されて、また実施されるという、そのPDCAサイクルにのっとって行われるということでございますので、きちっとこれをしていただくことが、行く行くのこの朝倉市の人口減に対する1番の対策になると思っておりますので、ぜひ頑張っていたいただきたいと思っております。

以上をもちまして、時間は残っておりますけれども、私の一般質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

○議長（浅尾静二君） 6番半田雄三議員の質問は終わりました。

10分間休憩いたします。

午前10時44分休憩